

科目名	データベース・デザインB (旧カリキュラム名)
科目名(英訳)	Database Design B
科目ナンバー	HI413C02
担当者 (非)は非常勤講師	終 和佑
単位数	1
開講学年	3年
開講semester	春期毎週
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 終 和佑:金5-6
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	コミュニケーション学科専門教育科目の中の文化情報デザイン発展科目として位置づけられる。文化情報デザイン発展科目は、コミュニケーション・デザインのための表現系スキルを学ぶための科目群である。また、司書課程の「図書館に関する科目」のうちの「図書館情報資源に関する科目」に属する必修科目でもあるため、司書資格を取得するために必要な科目である。  【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ②:○ ④:◎
身につく基礎力 / 身につく汎用力	企画・計画力 ICT活用力 / 専門的知識・技能 自立心 実行力

授業の主旨 (概要)	<p>多様な情報資源に関する書誌データの作成、主題分析、分類作業、統制語彙の適用、メタデータの作成等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。</p> <p>具体的には、図書館データ作成の実際、主題分析と分類作業の実際、主題分析と統制語彙適用の実際などについて理解し、知識を身につけることを目標とする。データを扱うための仕組み、メタデータの設計、データを格納する仕組みとしてのリレーショナルデータベースについて学んだ、データベース・デザインAとは異なり、実際に利用されている書誌データがどのように管理されているのかを解説する。</p> <p>なお、各自のコンピュータに国立国会図書館を利用した簡易的な目録システムを構築する。必ずコンピュータを持参すること。</p>																									
具体的 達成目標	<p>書誌データ作成の実際、主題分析と分類作業の実際、主題分析と統制語彙適用の実際などについて理解し、知識を身につけることを目標とする。また、実際に使われているデータ管理用システムのデータ構造を解説し、それらを実際に駆動させるためにどのような工夫が行われているのか、どのような処理が行われているのかを調査、理解できるようにする。</p> <p>最終的には、以下の能力の獲得を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館目録を構成する要素について理解することができる</li> <li>・図書館目録の維持管理について理解することができる</li> <li>・図書館システムについて概観できるようにする</li> <li>・新しい図書館システムについて議論することができる</li> </ul>																									
授業計画	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>【内容】</td> <td>情報資源組織化の意義と理論 図書館の業務について最近のニュースを用いて解説を行い、講義で扱う内容について概要を解説する</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td>【内容】</td> <td>目録作成演習1 書誌コントロールについて学び、データベースの必要性を理解する</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>演習内容の復習と課題の提出</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>【内容】</td> <td>目録作成演習2 書誌データ作成の実際について学び、実際に他データベースサービスからデータを取得してみる</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>演習内容の復習と課題の提出</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td>【内容】</td> <td>目録作成演習3 タイトルと責任表示の特徴を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>演習内容の復習と課題の提出</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5</td> <td>【内容】</td> <td>目録作成演習4 版表示・出版事項・形態事項の特徴を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>演習内容の復習と課題の提出</td> </tr> </table>	1	【内容】	情報資源組織化の意義と理論 図書館の業務について最近のニュースを用いて解説を行い、講義で扱う内容について概要を解説する	【授業外学習】		2	【内容】	目録作成演習1 書誌コントロールについて学び、データベースの必要性を理解する	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出	3	【内容】	目録作成演習2 書誌データ作成の実際について学び、実際に他データベースサービスからデータを取得してみる	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出	4	【内容】	目録作成演習3 タイトルと責任表示の特徴を学ぶ	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出	5	【内容】	目録作成演習4 版表示・出版事項・形態事項の特徴を学ぶ	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出
1	【内容】		情報資源組織化の意義と理論 図書館の業務について最近のニュースを用いて解説を行い、講義で扱う内容について概要を解説する																							
	【授業外学習】																									
2	【内容】	目録作成演習1 書誌コントロールについて学び、データベースの必要性を理解する																								
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出																								
3	【内容】	目録作成演習2 書誌データ作成の実際について学び、実際に他データベースサービスからデータを取得してみる																								
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出																								
4	【内容】	目録作成演習3 タイトルと責任表示の特徴を学ぶ																								
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出																								
5	【内容】	目録作成演習4 版表示・出版事項・形態事項の特徴を学ぶ																								
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出																								

## 25 データベースプログラミングB

6	【内容】	目録作成演習5 注記その他の特徴を学ぶ
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出
7	【内容】	目録作成演習6 分類記号付与の実際を学び、外部データベースサービスからデータを取得してみる
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出
8	【内容】	既存のOPAC1 日本のOPACの構造を学び、外部データベースサービスからデータを取得してみる
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出
9	【内容】	既存のOPAC2 日本のOPACの実装を学び、外部データベースサービスからデータを取得してみる
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出
10	【内容】	既存のOPAC3 海外のOPACを学び、外部データベースサービスからデータを取得してみる
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出
11	【内容】	既存のMARC1 MARCの存在意義を学び、外部データベースサービスからデータを取得してみる
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出
12	【内容】	既存のMARC2 日本のMARCを学び、外部データベースサービスからデータを取得してみる
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出
13	【内容】	既存のMARC3 海外のMARCを学び、外部データベースサービスからデータを取得してみる
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出
14	【内容】	データベースの今後1 データベースの抱える課題を学ぶ
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出
15	【内容】	データベースの今後2 RDBMS以外のDBMSの存在について学ぶ
	【授業外学習】	演習内容の復習と課題の提出
授業方法	演習(各自のコンピュータを持参すること) 提出された課題に対するコメントをもってフィードバックとする。	
成績の 評価方法	出席及び演習の成果物を総合的に評価する	
成績の 評価基準	図書館を支えるデータ管理技術を自分で調べ、使いこなせるかを評価する。 達成目標の90%以上の達成でS評価、80%以上でA評価、70%以上でB評価、60%以上でC評価	
教科書		
参考文献		